

1) ハルガヤ（スイートバーナルグラス：以下 SVG）

①SVGとは

SVGは、主に種子繁殖で拡大する他殖性の多年生イネ科雑草です。経年株はアレロパシー作用で草地更新後の牧草の出芽と生育を抑制するため、更新前の防除対策が重要となります。



②生育過程（種子生産）

SVGの生育的特徴として、萌芽後5月上旬には出穂を始め5日程度で出穂期となり7月上旬まで継続、出穂後10日程度で開花が始まり7月中旬頃まで継続します。開花後、1ヵ月で発芽可能な種子が生産され、8月上旬まで継続します。生産される種子は、約10万粒/m<sup>2</sup>と極めて多いのが特徴です。

③更新防除法

更新防除法は、「春夏体系処理」、「秋夏体系処理」の体系処理が基本となります。

			5月			6月			7月			8月			9月					
			上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
更新方法			SVG種子生産時期																	
			春夏体系処理																	
			当年			除草剤			耕起整地			除草剤・は種								
秋夏体系処理			前年						刈取			除草剤								
当年			耕起整地①			耕起整地②			除草剤・は種											

耕起・整地①：春以降で出穂個体がある場合の作業時期

耕起・整地②：春以降で出穂個体が無い場合の作業時期

図 V-11 ハルガヤ防除カレンダー

④防除に当たっての注意事項

- a 輪作の場合、草地前植生（SVG 侵入草地）は、前年秋までにグリホサート系除草剤により処理します。飼料用とうもろこし作付けの場合は、アトラジン剤による茎葉処理、アトラジン剤が効かない雑草の場合は他剤を併用します。
- b 草地更新時にグリホサート系除草剤を使用し、更新当年の種子生産させない時期に前植生処理を行います。前植生処理から整地までの間に実生を発生させ、翌春出穂した場合は、種子生産前（開花から3週間以内）に整地などの物理的防除か、除草剤処理を追加します。
- c 更新時の草種の選定は、チモシーは競合力が弱くアレロパシー（クマリン：化学物質）感受性が高いため、競合力の強いオーチャードグラスを選定します。また、クマリンに対する感受性の低いアカクローバ・アルファルファを選定し混播します。